

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
総務 01	総務課	自治会防犯灯電気料金補助	自治会が設置した防犯灯の電気料金の1/3を補助するもの。毎年、年2回自治会の支払った領収書をもとに金額を算出。件数も多く、金額の算出に時間を要している。自治会区域外の防犯灯については町が設置。	旧北条町で行っていた(1/2補助)もので旧大栄町にはなかった制度。旧町では制度のなかった大栄地区のほうで防犯灯の設置が多い。町が負担しなければならないものではなく、23年度廃止とする。	平成19年度		375	自治会防犯灯電気料金補助 H19 1,634千円 H20 1,500千円
	補助金削減				平成20年度			
					平成21年度	1/4補助		
					平成22年度			
					平成23年度	廃止		
総務 02	総務課	北条庁舎維持管理	分庁舎において窓口係と3課が事務を行っている。年間維持管理費は、夜警員賃金3,218、光熱水費5,250など約12,000千円。 2・3階フロアは鳥取中部ふるさと広域連合に貸し出し。	業務運営に非効率であり、また、災害発生時など危機管理上支障があり、統合の必要に迫られている。今年度の方針決定し、22年度統合を目指す。	平成19年度			
	経費削減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度	統合		
					平成23年度			
総務 03	総務課	委員定数の見直し	合併時において、両町の各種委員定数を合算して、新町の定数としているものがある。 体育指導委員15 + 15 30人 交通安全指導委員10 + 12 22人	次回の委員改選時に、定数を見直す。 体育指導委員 任期H21.3.31 交通安全指導員 任期H22.3.31	平成19年度			H20予算 体育指導委員 報酬1,431千円 交通安全指導員 報酬1,056千円 出勤謝礼1,336千円
	経費削減				平成20年度	検討		
					平成21年度	見直し		
					平成22年度	見直し		
					平成23年度			
総務 04	総務課	行政体制 課・室の数 スポーツ・文化部門 臨時職員の数	行政体制について毎年見直しを行い、住民サービスの向上、事務の効率化を図っている。 事務を補佐する臨時職員が常態化しているものがある。	課の数、臨時職員数を見直し削減、また、教育委員会のスポーツ・文化部門のあり方を検討。 臨時職員は必要最小限とし、終期を設ける。	平成19年度			組織 11課、1室、1局 臨時職員(H20.4月) 庁舎内22人 出先機関101人
	体制見直し				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
総務 05	総務課	会議謝礼・報酬	消防団員へは報酬のほか、消火出動・訓練・研修に対し費用弁償を支払っている。 また、関係者の協議や打ち合わせへの参加者に謝礼を支払っているものがある。	消防団員について、消火出動はともかく、別途報酬支払いもあることから、訓練・研修参加に対する費用弁償は見直す。また、謝礼は講師やアドバイザーに限り支払うこととし、関係者へ出席謝礼はやめる。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度	廃止		
					平成22年度			
					平成23年度			
総務 06	総務課	中部町村会	合併により構成団体が9町村から4町に減少。 合併前と同じ枠組みで消防操法大会、郡民体育大会、中部駅伝等を行っている。	合併前と同じ枠組みで行っているスポーツ大会、行事等のあり方を検討する。 また、4町のみで町村会支部を設ける必要はなく、倉吉市を含め鳥取中部ふるさと広域連合で代替する。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
企画 01	企画振興課	お台場公園サービスエリア、砂丘公園センター、北条海浜広場 使用料	お台場公園サービスエリアなどの使用料について、類似施設でありながら合併調整されないままで、料金体系が行っていた。	類似施設の額に見合う使用料とした。 コミュニティフロア(お台場)年間 581千円 1,062千円 特産物販売施設(公園センター)年間 126千円 747千円 など	平成19年度			H20, H21で段階的に改正
	使用料増収				平成20年度	実施	+ 1,265	
					平成21年度		+ 1,265 + 940	
					平成22年度			
					平成23年度			
企画 02	企画振興課	砂丘まつり補助金	町民手作りイベントとして、毎年、8月下旬に北条海浜広場を会場に行われている。 H19補助金は、3,500千円。	見直しを行いH20は3,300千円に削減。	平成19年度			
	補助金削減				平成20年度	実施	200	
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
企画 03	企画振興課	レークサイド大栄	H18から指定管理者制度の導入を目指したが、地元の合意が得られず現在も直営管理をしている。集客も伸び悩んでおり、また、生が劣化し、サービス低下につながっている。	指定管理者制度に移行した3つの観光施設は利用が増加となっている。レークサイド大栄も民間活力によりサービス向上、合わせて経費削減を行う。	平成19年度			H20予算 管理費 14,862千円 使用料収入 10,293千円 H20当初起債残高 637,384千円(利子除く)
	サービス向上				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
税務 01	税務課	納期の変更	現在、町民税、固定資産税、国保税は8期の納期としているが、納付書の発送、督促状の発送など多くの経費を要している。	固定資産税、町民税について、法定納期の4期とし、必要経費を減らす。国保税については、従来どおりとする。	平成19年度			
	経費削減				平成20年度	検討中		
					平成21年度	実施		
					平成22年度			
					平成23年度			
税務 02	税務課	町税等納付方法の拡大 クレジット・コンビニ納付の開設	現在、税等の納付は、納付書による銀行等や出納室による直接納付と口座振替の方法で行っている。	利便性のため、コンビニ納付、クレジット納付ができるようにする。	平成19年度			
	サービス向上				平成20年度	検討中		
					平成21年度			
					平成22年度	コンビニ		
					平成23年度	クレジット		
税務 03	税務課	町税等徴収対策	税源移譲で比重を増す町税の徴収体制を強化するため、町税等徴収対策本部(町税、住宅家賃、保育料、下水道使用料)を設置	差押等の処分を実施。使用料(住宅家賃、保育料、下水道料金)も併せて徴収を進める。 町税の徴収率は県のトップクラス	平成19年度			徴収率 町税 95.2%、 95.9% 保育料 98.7%、 98.8% 住宅 99.1%、 99.4% 下水道 98.1%、 98.2%
	体制見直し				平成20年度	実施		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
健康01	健康福祉課	緊急通報体制整備事業	独居高齢者で重篤な健康状態にある方を対象に緊急通報装置を設置し、その機器の維持管理及び委託を行っている。 年間経費 66件、1,840千円	新規の設置は行わず、既設の機器を維持管理していく。	平成19年度		10	
	経費削減				平成20年度	実施		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
健康02	健康福祉課	敬老行事交付金事業	75歳以上の高齢者を対象に、敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円を交付している。 H20 対象2,663人、2,663千円	財政事情を考慮し、対象年齢の引上げや単価の引下げを検討する。	平成19年度			
	補助金削減				平成20年度	継続		
					平成21年度	検討		
					平成22年度			
					平成23年度			
健康03	健康福祉課	福祉・保健体制	大栄庁舎には健康福祉課、北条地区に地域包括支援センター、瀬戸地区に社会福祉協議会と分散している。	拠点が分散しており、住民にわかりにくい上、特に高齢者対応のサービス効果が半減している。統合し、保健師、福祉士等マンパワーを有効に活かすことを検討する。	平成19年度			
	体制見直し				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
健康04	健康福祉課	健康福祉センター、健康増進センターの維持管理	町の福祉の拠点となる施設が2施設保有。 健康福祉センターには職員が常駐し、介護保険事務等を行っている。 健康増進センターは不在。	施設を2つ維持していくのは困難。 1施設の廃止を検討する。	平成19年度			H20管理費 健康福祉センター2,991千円 健康増進センター2,980千円
	経費削減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度	廃止		
					平成23年度			
健康05	健康福祉課	外出支援サービス事業	要支援、要介護者及び障害者の通院の際の送迎を支援する事業 現在の料金体系は、町内200円、町外500円一律。 町社会福祉協議会が受託し実施	料金体系を距離制に見直す。	平成19年度			H20委託料 9,301千円
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
健康06	健康福祉課	生きがい活動支援通所事業	65歳以上で家に閉じこもりがちな独り暮らしの高齢者を対象に、通所による各サービスを提供するもの。 町社会福祉協議会が受託し実施	漫然と行われてきている部分があり、事業の対象者を精査する。	平成19年度			H20委託料 4,616千円 契約では4,000円/人・回
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
健康 07	健康福祉課	いきいきサロン事業	自治公民館、集会所において自治会が実施するいきいきサロンに、社会福祉協議会職員が出向き、レク指導を行うもの。 町社会福祉協議会が受託し実施	各自治会に運営の自立を促すことが必要。 社会福祉協議会職員の派遣回数を減らし、自立を促す。	平成19年度			H20委託料 10,634千円
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
産業 01	産業振興課	林業費・松林健全化促進費	松くい虫被害により被害を受けた防風林等について、抵抗性品種を植栽し再生を図っている。	新植する抵抗性松について、単価の安い新品種に変更し、事業費の削減を図る。 600円/本 数十円/本	平成19年度		1,267	H19予算 1,344千円 H20予算 77千円
	経費節減				平成20年度	実施		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
産業 02	産業振興課	土地改良区地元負担軽減補助金	土地改良区の事業量・組合員数に見合った管理運営費の補助をしている。大誠土地改良区/北条町土地改良区/大倉土地改良区/大栄町土地改良区/北条土地改良区/北条砂丘土地改良区	北条町・北条・大誠の3土地改良区が現在合併協議中。22年度合併予定。合併により、補助金の見直しが可能で、大栄町・大倉土改区も含め町内の土地改良区の一歩化に向けた取り組みを推進する。	平成19年度		497	大誠 1,880、 1,880 北条町 2,940、 2,940 大倉 1,904、 1,904 大栄町 3,565、 3,565 北条 497、 0 北条砂丘 3,134、 3,134
	補助金削減				平成20年度	検討		
					平成21年度	〃		
					平成22年度	実施		
					平成23年度	〃		
産業 03	上下水道課	浄化センター管理業務	浄化センター汚泥の処理。運搬処分費について、岡山県勝央町では1トンあたり26,000円必要で、経費がかさんでいる。	米子市の処分場処理が可能となるよう交渉し、処理費の節減を図った。 米子市は、16,800円/t	平成19年度		3,008	大栄浄化センター H19 13,569千円 H20 8,614千円 北条管理センター H19 2,201千円 H20 3,536千円
	経費節減				平成20年度	実施		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
水道 01	上下水道課	上下水道管理体制	上水道、下水道とも直営で実施。管理のために多くの知識・経験を要するため「異動が困難」「技術者の養成が困難」となっている。	上水道の統合事業は基幹的部分については20年度で終了。また、下水道では北条地区が21年度、大栄地区は25年度に完了予定。工事終了を機に管理業務を民間に委託することを検討する。	平成19年度			水道法の改正で、水道事業への民間参入が可能となっている。広島県三次市では浄水場の委託が行われている。本町においても民営化の検討を進める。
	体制見直し				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
出納 01	出納室	光熱水費等の支払い	毎月、町の全施設の電気、電話、水道等の支払いのため数百件の伝票作成、支払手続きを行っている。決裁の遅れから、延滞金が発生するものがある。	口座振替を導入することによって、延滞金の発生を防ぐ。	平成19年度			
	事務軽減 経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
生涯 01	生涯学習課	町内体育施設維持管理事業(体育館)	町内に体育館10(学校施設を含む)施設を保有。 大栄体育館 / 勤労者体育センター / 大誠体育館 / 栄体育館 / 北条体育館 / 海洋センター体育館	将来的に小・中学校を含め10の体育館を維持管理していくことは困難。 2施設を廃止することについて検討する。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度	実施		
					平成23年度			
管理費と収入の状況(H20予算)		大栄体育館 管理費447千円 勤労者体育センター " 670千円 大誠体育館 " 251千円 大栄ふれあい会館 " 826千円 北条体育館 " 555千円 海洋センター " 5,457千円(体育館以外を含む)	使用料270千円 " 98千円 " 90千円 " 135千円 " 140千円 " 1,720千円(体育館以外を含む)	北条テニスコート 管理費644千円 使用料8千円 大栄テニスコート 管理費10千円 使用料0千円 大栄テニスコートは大栄運動場と一括管理のため金額は推定 お台場公園テニスコート 管理費650千円使用料820千円 お台場公園は指定管理者管理のため金額は推定				
生涯 02	生涯学習課	町内体育施設維持管理事業(テニスコート)	町内にテニスコート(学校施設を除く)3施設を保有。 北条テニスコート(照明有) / お台場公園テニスコート(照明有) / 大栄テニスコート	将来的に3施設を維持管理していくことは困難。2施設の廃止について検討する。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度	廃止		
					平成23年度			
生涯 03	生涯学習課	町内体育施設維持管理事業(野球場)	北条野球場(照明つき、土グラウンド)、大栄野球場(照明つき、外野部分芝生)の2施設を保有。	将来的に2施設を維持管理していくことは困難。1施設の廃止について検討する。	平成19年度			北条野球場 管理費 4,196千円 使用料 780千円 大栄野球場 管理費 4,227千円 使用料 828千円
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度	廃止		
					平成23年度			
生涯 04	生涯学習課	スポーツ行事	すいかながいもマラソン、クロスカントリー、いかだレース、町駅伝、チャレンジデーなど多くのスポーツ行事を町直営で実施している。(一部指定管理者委託あり)	直営ではなく、町民主体で実施する方法、また、企業協賛により実施することを検討する。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			
生涯 05	生涯学習課	(財)北条スポーツクラブ	H16から現在まで、北条地区のスポーツ施設を指定管理者として管理。正規職員2、臨時職員2の職員体制で、施設の維持管理のほか、クロスカントリーなどのスポーツ行事を行っている。	施設の一括管理で一定の効果が認められるが、経費面では人件費割合が高くなっている。大栄スポーツクラブとの統合を視野に入れており、職員体制を見直す。	平成19年度			
	体制見直し				平成20年度	検討		
					平成21年度			
					平成22年度			
					平成23年度			

行政改革における取り組み内容

NO	担当課	事務事業、補助金等、推進項目名称	現在の取り組み状況、事業内容	見直し・取り組み内容	実施時期		経費節減見込み(千円)	備考
	内容							
生涯 06	生涯学習課	移動図書館	自動車を利用し、保育所や自治会公民館などをまわり、図書の貸し出しを行っている。 自動車維持管理 227千円 運転手賃金 1,974千円	図書館システムが完成、また専用自動車も老朽化していることから、移動図書館を廃止(更新なし)する。なお、図書館分室(北条地区)は存続し、公民館と併せ住民利用の便を図る、	平成19年度			
	体制見直し				平成20年度	検討		
					平成21年度	廃止		
					平成22年度			
					平成23年度			
人権 01	人権同和教育課	文化事業(各種講座)	文化会館、文化センターにおいて、地域住民の福祉の向上や人権啓発のための文化事業を行っている。 H20講座講師謝礼 780千円	各種教室は、教養文化活動を通して住民交流の場となっており、廃止等は文化的改善向上の拠点の場や学習の機会を減らすこととなる。今後、参加者が少ない講座は廃止したり、参加者に応分の負担を求める。	平成19年度			
	経費節減				平成20年度	検討		
					平成21年度	実施		
					平成22年度			
					平成23年度			